



広報

## ひがしゆり

1991・9

No.438



■主な内容	*
●阿部新町長に聞く	2・3
●町長・町議会議員補欠選挙結果	4
●“阿部町政”スタート	5
●町成人式「68人が大人の仲間入り」	6・7
●町のわだい	8・9
●高橋宏幸の世界	5
●みんなのひろば	10・11
●ねんきん通信ほか	12・13
	14・15

嫁に来ないか  
今年の新成人者は六十八人で、このうち町内在住者は約三十一%にある二十二人（男十四、女八）です。新成人者数は、二十年前が百八十人、十年前が百四十二人で、特に戦後のベビーブームが反映した二十年前に比べると三分の一近くまで減少しています。出生数が少ない近年にあって、新成人を含む若者の数は更に減少することが予測され、嫁・婿不足の問題が一段と深刻化するには必至です。

とりわけ、現状における課題は、高校卒業者をいかにして地元に就職させるか、また若者の都会からのUターンをいかにして促進していくかにあるものと思われ、そのためにも、若者に魅力ある職場の確保などが強く望まれるところです。

(写真＝町成人式・8/15)



明るく元気の出る町づくりへの意欲を語る阿部町長

#### 阿部幸悦町長略歴

16年	・6月10日生(50歳)
35年	・県立大曲農業高校卒
39年	・宇都宮大学農業経済学科卒
47~50年	・町議会議員
48~58年	・町体育協会理事長
58~61年	・町農業委員
58年~	・町社会福祉協議会評議員
59年~	・東由利農協理事 ・社会福祉法人藏立会理事長

問 昨年の国勢調査で人口が五年前に比べ三百五人減少するなど、本町の過

## 町営住宅、住宅団地を構想

疎化が一段と進んでいます。人口減少問題は一つ本町だけでなく農山村に共通する全国的な問題でもあります。今後この問題に対してもどのように対処していくお考えですか。

答 ひと言でいえば花嫁花婿対策と、それを受け入れる就業の場を広げていくことです。しかし、言葉では簡単にいえても、それをどうやって施策化していくかが課題です。

## 阿部幸悦新町長に聞く

町の舵とり役を担う町長に、新しく阿部幸悦氏(50歳・岩館)が選ばされました。(選挙結果は三面)

阿部町長は選挙運動期間中街頭で、「町づくりは人づくり。人づくりは町づくりである。そんな町づくりは、一人の思い込みではできない。町民の融和と英知を結集した活力によって生まれるものではないか。そこに住む人々の生活を通して出てくる提言、素朴な語り合いの中にこそ政治の基本がある」と呼びかけ、「開かれた町政、よどみのない町政、これが私のめざす“明るく元気の出る町”的政治理念である」と強く訴えました。

八月二十日、第五代東由利町長に就任した阿部幸悦町長に、

今後の町づくりについて抱負を語ってもらいました。

## 農家・農業者への情報提供が肝要

問 米、牛肉の輸入自由化などで、農業情勢は一段と厳しさをつのらせてします。こうした中にも、本町においては、産業構造が脆弱であることや地理的な条件に恵まれないことなどから、将来ともに農業を基幹産業として振興していくしかねばならないと思われます。今後の農業振興について、お考えをお聞かせください。

答 東由利町は将来とも農業が基幹産業であることには疑いありません。ただ、これからは小規模農業が家業として残っていく情勢ではないことも確か

です。経済的に引き合う産業としてどうやって農家・農業者に頑張つてもらうかが基本になると思います。

農家・農業者自身の向上心に行政や農協、その他の機関が適切なる情報を提供することが肝要です。これまでの「補助金があるから」といった施策ではだめだということは実証済みです。「東由利町農業振興大綱」も出来上がったことですし、農協を中心にして他の機関とも協力し合いながら、その振興策に取り組みます。

# “明るく元気の出る町”めざす!

東由利町という繩  
ばかりだけを守つてい  
ては無理なので、広  
域的な発想の中で考

## 「生きがい対策」を推進

**問** 人口の減少と反比例し、高齢者人口が増え続けています。昨年度末の老人人口

比率が二十%を超えたということは、日本の将来予測比率の一十年先をいつているということです。これを逆手にとり、国・県の施策の先取りができるならとも考へています。

ショートステイ、デイサービスを中心とした「健康センター」などを構想し、また、厚生省が計画しているホームヘルパーの増員、待遇改善などとも絡め、社会福祉協議会や在宅福祉の充実を図っていきます。

そして、楽しく安心して老後を過ごせるよう、「生きがい対策」にも力を入れていきます。

シヨートステイ、デイサービスを中心とした「健康センター」などを構想し、また、厚生省が計画しているホームヘルパーの増員、待遇改善などとともに絡め、社会福祉協議会や在宅福祉の充実を図っていきます。

そして、楽しく安心して老後を過ごせるよう、「生きがい対策」にも力を入れていきます。

**問** 最後に、阿部町長は「町づくりは人づくり。人づくりで元気の出る町づくりを……」と提唱されていますが、人づくりについては今後どのような施策をとつていかれますか。

**人づくりの教育・研修に投資**

問 最後に、阿部町長は「町づくりは人づくり。人づくりで元気の出る町づくりを……」と提唱されていますが、人づくりについては今後どのような施策をとつていかれますか。

答 「人材づくり」が町の将来を左右するものだという思いでいっぱいです。人づくりは“手間ヒマ”をかけないと出来上がらないという教育・研修に投資していく研修の場、機会などを磨しながらの「人材づくり」を努め、「光り輝く人材」も目指します。

出来上がらないという認識に立ち、教育・研修に投資していきます。また、研修の場、機会などを増やし、切磋琢磨しながらの「人材づくり」に懸命に努め、「光り輝く人材が輩出する町」を目指します。

最後に、阿部町長は「町づくりは人づくり。人づくりで元気の出る町づくりを……」と提唱されていますが、人づくりについては今後どのような施策をとつていかれますか。

# 研修に投資

館合・岩館バイパス整備に全力傾注

**問** 町発展のためには、交通体系の確立が不可欠と思われますが、道路行政については、今後どのように推進していくお考えですか。

空港も三十分という距離圏を造り上げ  
ていきたいと考えています。そのため  
にも、近隣町村との協力関係を図りな  
がら、国道一〇七号へのアクセス網で  
ある県道の一早い整備、特に、館合バ  
イパス、岩館バイパス、県道向田線の  
拡張整備に全力を注ぎます。

「明るく元気の出る町」東由利を造り上げるには、①働く場、充分な所得が得られる場として、どう方向づけ施策していくか。②安心して快適な生活ができる場をどう造り上げていくか。

③働いて生活し、そして“憩”の場としての東由利町はどうするのか――選挙戦をとおしていろいろ提案し公約してまいりました。もちろん、東由利町の繩ばりを守るだけでは解決できない問題もたくさんあり、近隣の市町村の

協力も仰がねばなりません。

# 就任のごあいさつ

ない。しこりを残して町を二分するだけだ。そのためには金・酒・中傷を排除するという三原則を守ろう。替りに情熱と馬力でもつて町を語ろう」と申し上げました。「王道」の選挙戦だったと自負しています。そして、こういう私を支持して下さった東由利町民を誇りに思います。

任期四年間を、町づくりの先頭に立ち一生懸命に頑張ります。どうかよろしくお願ひ申し上げます。

「明るく元気の出る町」東由利を造り上げるには、①働く場、充分な所得が得られる場として、どう方向づけ施策していくか。②安心して快適な生活ができる場をどう造り上げていくか。

③働いて生活し、そして“憩”の場としての東由利町はどうするのか――選挙戦をとおしていろいろ提案し公約してまいりました。もちろん、東由利町の繩ばりを守るだけでは解決できない問題もたくさんあり、近隣の市町村の

協力も仰がねばなりません。



加藤 栄一氏  
57歳・横渡・農業  
無所属・当選2回



小松悌之助氏  
49歳・上通・商業  
無所属・当選3回



谷口 圭一氏  
56歳・上通・会社役員  
無所属・初当選

八月十九日任期満了に伴う町長選挙及び町議会議員補欠選挙は、七月三十日に告示され、八月四日投票、同日午後七時から有鄰館で開票が行われました。この結果、町長に元町議会議員で東由利農協理事の阿部幸悦氏（岩館・五〇歳）、町議会議員に新人一人を含む三氏が当選しました。

（阿部新町長を2～3面で紹介）

### 投票率は九一・五三%

前回（六十二年）無投票のため八年ぶりの首長選びとなつた今回の選挙には告示と同時に、十六年ぶり出馬の阿部氏と、新人で前町議会議長の長谷山二郎氏（舟木・五七歳）の二人が届出、両者一騎打ちの形で激しい選挙戦が繰り広げられました。また、欠員（三人）に伴う町議会議員の補欠選挙には前職二人と新人二人の四人が出馬、前職二人、新人一人が当選しました。

投票は八月四日午前七時から町内十三投票所で一斉に行われ、投票率は九二・五三%と前々回（五九年）の九六・五五%を四・〇二%下回りました。

また、今回は町長選挙のほかに町議会議員の補欠選挙が行われたことから記載違いなどで無効となつた投票が多く、町長選挙に五十五票、町議会議員補欠選挙に九十一票の「無効投票」が

# 阿部氏が百六十五票差で当選

ありました。これらのほとんどは、投票用紙に候補者以外の氏名を書いたものや何も書かれていないものでした。



大勢の参観人が見守るなかで行われた町長、町議補欠選の開票

### 〈町長選挙開票結果〉

（敬称略）

当選 阿部 幸悦 二、一一〇票  
(無所属新・五〇歳・岩館)

次点 長谷山二郎 一、九四五票  
(無所属新・五七歳・舟木)

当選 谷口 圭一 一、一〇八票  
(無所属新・五六歳・上通)

当選 小松悌之助 一、〇八九票  
(無所属前・四九歳・上通)

当選 加藤 栄一 一、〇八二票  
(無所属前・五七歳・横渡)

次点 佐々木長円 七二八票  
(無所属新・四四歳・大琴)

### 町長選挙・町議会議員補助選挙投票結果

投票区	当日の有権者数	投票者数	棄権者数	投票率	内訳	
					男	女
第1(黒淵地区)	337人	324人	13人	96.14%	96.99%	95.32%
第2(田代ヶ)	330	301	29	91.21	89.57	92.81
第3(袖山ヶ)	168	153	15	91.07	93.83	88.51
第4(舎合ヶ)	918	837	81	91.18	89.91	92.37
第5(松柴ヶ)	71	63	8	88.73	86.67	90.24
第6(老方ヶ)	871	818	53	93.92	92.72	94.99
第7(祝沢ヶ)	50	46	4	92.00	92.59	91.30
第8(高村ヶ)	23	22	1	95.65	90.00	100.00
第9(法内ヶ)	328	299	29	91.16	91.36	90.96
第10(藏ヶ)	602	550	52	91.36	91.27	91.44
第11(黒沢ヶ)	82	76	6	92.68	95.12	90.24
第12(大琴ヶ)	590	553	37	93.73	95.14	92.38
第13(杉森ヶ)	72	68	4	94.44	100.00	90.00
計	4,442	4,110	332	92.53	92.36	92.68

# “阿部町政”スタート

「役場庁舎建設」などを畠山前町長から引き継ぐ

町職員らの出迎えで初登庁する阿部新町長



第五代東由利町長に就任した阿部幸悦町長は、八月二十日午前九時、町職員らの出迎えで初登庁。同九時十分から役場二階会議室で、全職員を前に就任のあいさつを行いました。

その中で阿部町長は、「町長としては新人であ



事務引き継ぎを終え、握手する新・旧町長

阿部町長就任に先立つ八月十九日、

二期八年にわたり町政を担当された畠山町長の離任式が行われました。

畠山町長は、午前十時から役場二階会議室で畠山良一助役と佐藤謙収入役に解職の辞令を交付。あいさつの中で八年間の回顧と将来の町展望に対する所感などを述べた後、「新町長のもとで職員が一致団結し、今まで以上に努力し町づくりを進めてほしい。今後は秋田市に在住するが、これからも町発展に少しでもお手伝いできれば……」と述べ、町職員らに見送られながら役

## 「永遠の発展を祈る」 畠山亮二郎前町長

が退任のあいさつ

場をあとにしました。

新・旧町長の「事務引き継ぎ」は八月二十一日役場応接室で行われ、役場庁舎の建設、温泉開発の促進など、今后の町の懸案事項を阿部新町長が畠山前町長から引き継ぎ、名実ともに「阿部町政」がスタートを切りました。



町職員らに見送られ役場をあとにする畠山前町長

るが町民としてはプロである。しかし、組織人としての経験もないのに、行政のプロである職員の協力を十分に得ながら町づくりに携わっていただきたい。そして、町民の目線に立ち、討論と対話のある町政を築いていきたい。

明るい職場づくりに強い意欲を示しました。

と基本姿勢を述べ、「楽しく仕事ができる雰囲気づくりも私の役割。そのためにも、健康を第一に、互いに助け合



畠山 良一氏



佐藤 謙氏

## 畠山助役と佐藤収入役が退職

畠山良一助役と、佐藤謙収入役が八月十九日付で退職しました。

畠山助役は、昭和五十九年八月に就任して以来、七年にわたり畠山亮二郎

前町長の補佐役として、産業基盤や道路網の整備など町勢発展に尽くしてこられました。特に、助役就任前の十九年間に及ぶ町職員の経験をフルに生かし、農村総合整備モデル事業や団体営農道整備事業などの円滑な実施に手腕を發揮されました。

佐藤収入役は、昭和六十二年九月に就任して以来、三年十一ヶ月の間、町

財政の健全な運営に尽くしてこられました。特に、予算の効率的な執行と、徹底した財政管理により積立金の増大に努められました。そのご努力により一般会計積立金の残高は現在九億五千万円余りとなっています。

両氏の長い間のご努力に対し、心から感謝の意を捧げたいと思います。



講演する山口香氏

記念講演要旨

私は小さいころテレビで「姿三四郎」を見て柔道が好きになり、六歳の時か

柔道をはじめました。これまで何度も柔道をやめようかと思つたこともありました、「好きでやつてゐるんだ」という気持ちが常に立ち、それが今日まで続けてこられた一番の原因のように思います。

私はこれまで数多くの試合に出場してきましたが、「試合に勝つためには準備が必要だ」ということを感じています。勝ち負けは時の運ということもあります。

は昭和四十五年四月一日から四十六年四月一日までに生まれた六十八人で、このうち成人式には五十四人が出席しました。



54人が出席した町成人式（写真は記念撮影）

晴れて大人の仲間入りをした若者たちを祝う成人式が、八月十五

う成人式が、八月十五  
日有鄰館で開かれまし

が畠山町長から贈られました。

このあと畠山町長が、「新成人のう

A black and white photograph showing two men in a room with vertical wood paneling. One man, wearing a light-colored shirt and white pants, is handing a small object to the other man, who is wearing a dark shirt and dark pants. A circular sign hangs on the wall between them.

新成人を代表し長谷山直人さんが畠山町長から成人証書を受領

ありますが、終わつた時に「満足のいく試合が出来た」と感じることができるのは、満足のいく準備が出来た時なんですね。だから、事に臨むには、いかに満足のいく準備をして臨むかということです。それがプレッシャーに勝つ方法ではないかという気がします。

オリンピックにいくと「日本人はプレッシャーに弱い」とよく言われます。それは日本人があまり勝ち負けにこだ

合いました

晃さん、小野静枝さんが成人を迎え心境などを発表、それぞれの意見が参加した新成人たちの共感を呼びました。

新成人を励ました。（要旨別記）

引き続きソウルオリンピック銅メダリスト（女子柔道）で、武藏大学人文  
学部助手及び筑波大学女子柔道部監督の山口香氏を迎えた記念講演を開催。山  
口氏は「柔道一筋・私の青春と生きがい」と題して、自らの体験を話しながら

たなる旅立ちへの誓いを力強く述べ、式典が閉じられました。

# 町成人式 68人が大人の仲間入り

成人を迎えること

小松  
真澄さん  
(黒沢)



私は今日、この成人式に出席し、今まで漠然としていた「成人」ということがはつきりした形になつたという気がします。それは、今まで未成年ということことで社会的にも個人的にも、有形、無形に受けていたはずの庇護<sup>(ひご)</sup>がなくなり、すべての行動について自分自身が責任と自覚を持つて対処していくなければならないということ、また、自分の歩む道は自分で決めなければならぬということを感じたからです。

今の日本は、科学技術などをはじめ  
様々な技術が驚異的に進歩し、国民の  
約九割が中流家庭意識を持つてゐる豊  
かな国です。そして、人々は物質的に  
ほぼ満足し、より以上の豊かさを摸索  
している時代です。

私たちがこれから独り立ちをしようとする現代社会は、すでに強固なまでに構築され、その枠からはみ出して活動することは非常に難しい現実となっています。この社会の中で自己実現す

者の特権でもあると思います。

小野 弘通さん（宿）  
私たちがこの町で生まれ、すでに  
二十年の歳月がたちました。  
ここまで来るのでに、たくさんの方  
を借り、こうして今日の成人式を迎  
えることができました。

# 誓いのことば（一部割愛）



この町を愛し続けたい

小野 静技さん（上里）



私は高校を卒業後、あこがれの県外に就職しました。六ヶ月がたち、仕事にも都会の生活にも慣れたころ、祖母の具合が急に悪くなり、東由利町に帰ることになりました。

祖母は昨年の冬までは歩くことができたのですが、入院した時に転んで腰を強く打ち、一度と歩くことができなくなりました。病院での二ヶ月と、退

祖母を東光苑に入所させる案を持ち出してくれました。しかし、入所するにはいろんな条件があり、また、何人の入所希望者が待っているということでした。

ならしいと思いました。

ことだらけであります。成人とはいえ、これからも今まで同様、先輩の皆様のご指導を受けながら、社会の一員として自分をみがきあげていこうと思います。今、私たちはそれぞれが自分の夢と目標に向かい、歩み出している途

おしめの取り替えや食事の介護など、身のまわりの世話がすべて私の手にかかつてきました。あまりのつらさに、何度も泣いたことでしょう。

年々老人が増えている町の現状において、それに対応できる施設が少ないと、また、一人暮らしの老人もたくさんいると聞いています。見せかけの福祉ではなく、もつと老人福祉についてお互いが真剣に考え、老人もさることながら、家族も安心して暮らせる町

こうしたことは、青年会に入会してから特に強く感じました。

生まれ育った東由利を見直し、これからは私たちの手で楽しく、生きがいのある町にしていきたいと思います。そして、これからも、私はこの町をずっと愛し続けていきたいと思います。

# 町のわだい TOPICS



郡市民謡グループ対抗歌合戦に出場し総合優勝を果した高橋さん(右)、柿崎さん(中央)、小野さん(左)

## 9月14日に発表会を開催

町民謡同好会では、毎年好評を博している会員による「発表会」を、九月十四日午後五時半から健康増進センターで開催することにしています。入場は無料ですので、ご近所おさそいあわせのうえ、ぜひお出かけください。

第十五回本荘市由利郡民謡グループ対抗歌合戦（7月27日・本荘市文化会館）で、本町の民謡同好会（遠藤真吉会長）が、昭和五十八年以来八年ぶり三度目の総合優勝を飾りました。出場したのは、「先峰」の部に柿崎竹美さん（東由利中三年）、「中堅」の部に高橋守さん（地下ノ沢）、「大将」の部に小野清幸さん（宿）の三人で、それぞれが日々の練習で鍛えたのどを十分に發揮、三人の合計得点が、本荘市由利郡内出場十二グループでトップを獲得したものです。

**町民謡同好会が  
郡市民謡グループ対抗歌合戦で  
8年ぶり3回目の総合優勝飾る**

ふるさと交流で自然まるかじり  
お盆の帰省客など33人が参加し  
魚の放流や野菜の収穫を体験



古里の自然や味覚を満喫してもらおうと、今年も「ふるさと交流」を八月十五日、八塩い

月十五日、八塩い  
こいの森で開きました。

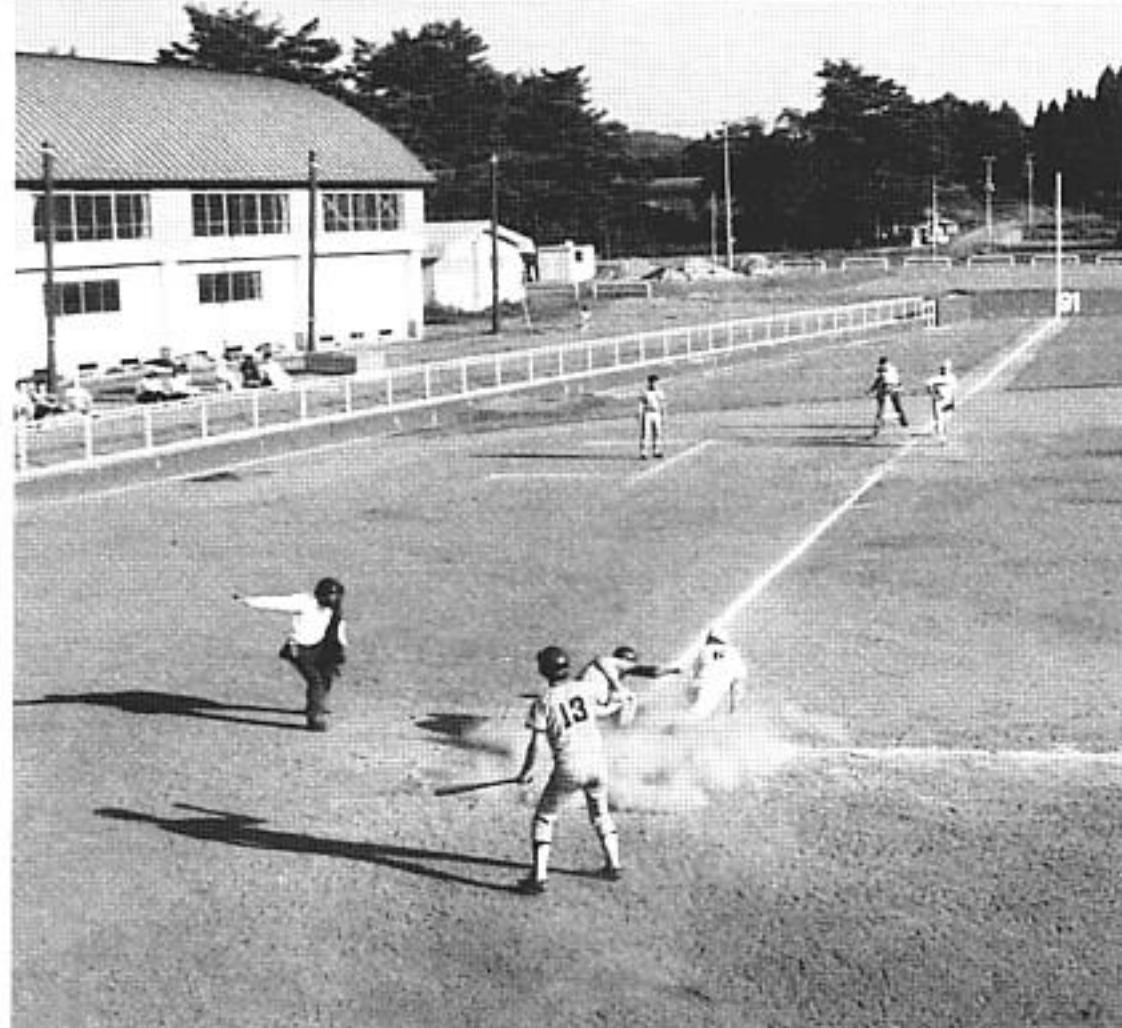
第七回目の今年は帰省客を中心に三十三人が参加、午前中はイワナのつかみどりや釣り、ヤマメの放流を楽しんだほか、野菜の収穫などを体験、昼食をはさんで午後はキャンプ場でバーベキューやフランス鴨料理に舌つづみを打ちながら交流を深め合いました。



ヤマメの放流を楽しむ参加者

お盆の帰省客に

## 野球狂がサヨナラ勝ち 優勝は4年ぶり7回目 朝野球大会とダブル制覇



最終回内野ゴロで3塁ランナーがホームインし、野球狂がサヨナラ勝ちを決めた瞬間

第三十三回夏の社会人野球大会が八月十五日から三日間、勤労者野球場と秋田ルビコングラウンドで開催され十六チームが善戦、ボイスポーツクラブと野球狂が決勝に進みました。決勝戦では序盤二点を先取した野球狂が、終盤ボイスポーツクラブに同点に追いつかれたものの、最終回内野ゴロで三塁ランナーがホームイン、三対二でサヨナラ勝ちを決め、四年ぶり七度目の優勝を飾りました。

野球狂は同朝野球大会も制覇、ダブル優勝という大きな快挙を成し遂げています。

最高殊勲選手賞は佐藤英之さん（野球狂）に、敢闘選手賞は高橋時夫さん（同）、佐藤一裕さん（ボパイ）、小松俊太郎さん（中通）に贈られました。

「いただいてうれしい『のびる子』に

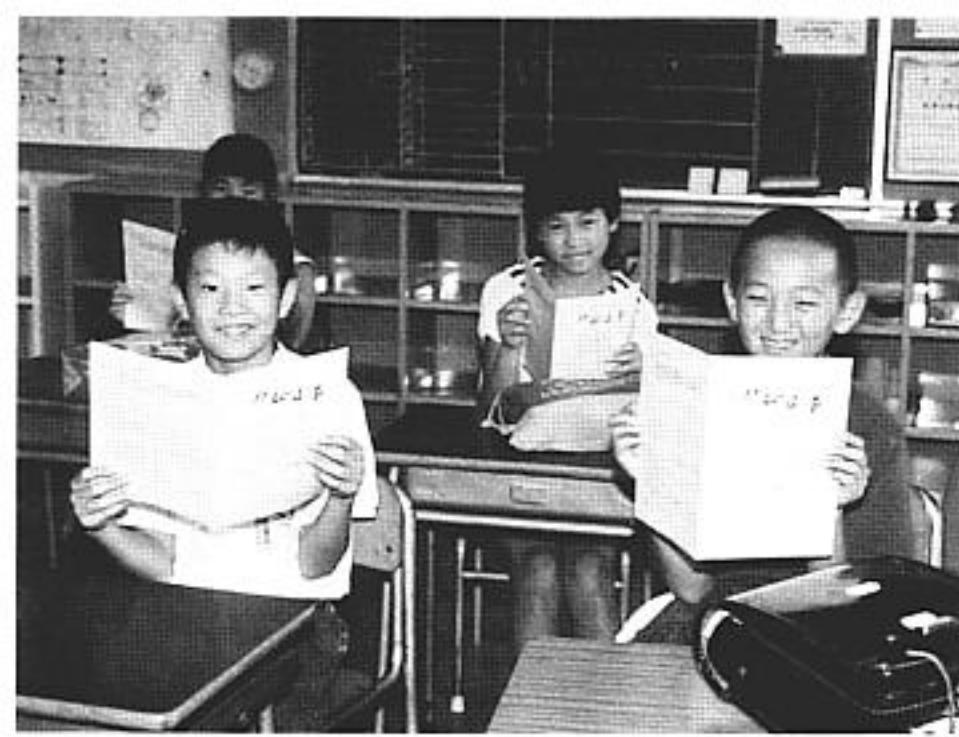
子どもの個性発見にも一役  
「通信簿」をイメージチェンジ  
大琴小学校で、今年一学期から「通信簿」を「のびる子」にイメージチェンジしました。

「固い通信簿から柔らかい通信簿に。これまでの絶対評価をやめ、子ども個々の絶対評価に近づけよう。子どもの個性を発見してあげよう」などの願いから、鈴木憲一同校長のアイデアで実行したものが、子どもたちには「いただいてうれしい通信簿」と評判も上々。

特に父兄からは、「通信簿は半世紀来あまり変わっていないように思う。時代も変わっていることだし、通信簿も変えていくべきではないか」と好評を得ています。

この「のびる子」は、淡いモスグリーン色の手づくり製で、低・中学年ごとに内容も変えており、同校長は「教室の一隅で恥ずかしそうに見る通信簿の時代は過ぎました。これからも笑顔で見れる通信簿にするために研究したいと思います」と話しています。

「通信簿」をイメージチェンジ  
いただいてうれしい「のびる子」に  
子どもの個性発見にも一役



一学期修業の日「のびる子」を手にした大琴小の児童たち



町陶芸サークル「燐幻会」の指導を真剣なまなざしで受ける陶芸教室の参加者

世界につしかない作品を作成  
町公民館が陶芸教室を開催  
「野焼きの日」が待ち遠しい

陶芸教室（町公民館主催）が七月二十八、二十九日の二日間、健康増進センターで開かれ、児童・生徒を中心に四十人が参加、町の指導のもとに、初日は基礎技術やデザインについて学習、二日目は作品の製作と仕上げ作業を行い、それぞれが世界に二つとないオリジナルの作品を作りました。

この日出来上がった作品は、一般が九月十二日に八塩いこいの森で開かれる「全県野焼きの集い」で、児童・生徒は同十五日同会場で焼き上げ、土器として完成させることになります。

二日がかりで丹精込め作り上げた作品に参加者は満足げな顔をし、作品を大事に保管、野焼きの日を首を長くして待っています。

世界につしかない作品を作成  
町公民館が陶芸教室を開催  
「野焼きの日」が待ち遠しい



# たかはしひろゆき やく・え 高橋宏幸の世界

5

## チロヌツブの子 さくら・下

チロは、木ぼりの にんぎょうを くわえて、おかの  
上まで はこぶと、さくらの はかの そばに ねかせた。  
与平と ゆりが、なぜ いなくなってしまったのか、  
チロには わからない。

その日から、チロは、さくらの にんぎょうと はかを  
まもりながら、ふたりの かえりを まちづけた。

はげしい かぜが、うみに 白い あわを かきて、  
しらかばの こずえを ふるわせ、木のはを  
ふきとばす きせつ。

その 木のはのよう、チロの かぞくも  
ちりぢりになっていた。

「子わかれの ぎしき」が おわり、子ぎつねたちが  
ひとりだちを はじめたのだ。ふゆが くるまで、  
よめさんの ぎんぎつねとも あうことはない。

チロは、あいかわらず、あさはやく じぶんの すあなを  
でると、おかの上へ かよいつづけた。

あめの日も、つめたい かぜの日も、にんぎょうの  
さくらの ために、たべものを くわえて…。

みぞれは、みるみる はげしい ゆきに かわり、  
ふぶきとなる。そらは、おもい なまりいろ。

くろぐろとした うみには、白い なみが たち、しまは  
すっぽりと ふかい ゆきに つづまれた。

チロは、くさった 木のかわの うらに ひそむ  
小さな 虫や、ゆきに うもれた 木のみを あさり、

くる日も くる日も、おかの上に はこんだ。  
そして、ゆうぐれになると、ゆきのなかに うずくまり、  
よふけまで、与平と ゆりの かえりを まつのだつた。

ふぶきに あけくれる ふゆにも、うす日の こぼれる  
ときがある。

そんな あるあき、ゆきの なかで じやれあう、  
2ひきの きつねの すがたが あつた。赤い きれを  
くびに まいた チロと、ぎんいろの きつねー<sup>一</sup>  
はなればなれに くらしていた、チロの よめさんだ。

ふゆに なると、きつねの ふうふは、子どもが  
うまれそだつまで、いつしょに くらすのだ。

りゆうひょうが しまを つつむと、ふゆも もう  
おりに ちかい。うみの はてまで、ぎつしりと  
うめつくした りゆうひょうも、ひとばんで  
ながされることが ある。

りゆうひょうが きた あさのこと。  
パンパンパン

とつぜん、てつぱうの おとが ひびきわたつた。  
チロは、ぴんと みみを たてた。みさきの ほうを  
みおろすと、いくつかの 人かげが みえた。



チロが、みさきの いわの上で なきたてると、  
ラツコを おそつていた 赤毛の 大おとこたちが、  
わいわい さわぎだした。  
チロは、すつと いわかげに かくれた。  
ピユーン バシツ

たまが いわに はじけて、ゆきが ちつた。  
クエーン

チロは、いわから いわへ とんだ。そして、がけの上を  
めがけて とびあがると、大おとこたちの ほうを  
ふりむき、ふとい しつぽを ゆすつてみせた。

大おとこたちは、むきになつて チロを おつてきた。

チロは、木かげから やぶかげへと とびうつり、  
ゆきの上を はしつては、からだを ふせ、

からかうよう なく。大おとこたちが ちかづくと、  
また にげる。

こうして チロは、さくらの はかと はんたいの  
ほうこうへ、大おとこたちを さそいだした。  
いつのまにか、あの おそろしい たにの がけの上へ  
きていた。

たにまを おおう ゆきは、しらかば林はやしの たかい  
こずえに つもつた ふきだまり。下は、ふかい  
ほらあなただ。

この おとしあなに はまつたら さいご、  
なだれおちる ゆきに、たちまち うまつてしまふ。

チロは、いっきに たにまを よこぎろうと  
けつしんした。  
クエーン

チロは、なだらかな ゆきの たにまを、まつしぐらに

ゆきは、あとから あとから くずれおち、もうもうと  
ゆきけむりが たちのぼつた。  
チロは、てつぼうの たまで、おもい きずを  
おつていた。ゆきを 赤く そめながら、よろよろと  
おかを のぼつていく。

おかの上に たどりつくと、チロは ゆきを  
ほりはじめた。ときどき やすんでは、いきを  
はずませながら、また ほりつづける。

ながい じかんを かけて、ようやく ほりだしたのは、  
木ぼりの にんぎょうだつた。

チロは、その上に かぶさるように うすくまつた。  
はるに おしよせる りゆうひようが、なんかいとなく  
しまを つぶんでは、どこかへ ながれていった。  
ながい ながい ときが すぎていった。

チロの からだと 木ぼりの にんぎょうは、ゆきと  
ともに じめんに とけこんだのか、もう かたちは ない。

はるも おわりに ちかい ある日。  
1 そうの 小ぶねが、はまべに ついた。

与平と ゆりの まわりを、赤い ちようちよが  
ひらひらと まつていた。  
こぎつねが 5ひき、ちょこちょこと おかの上に  
のぼつてきた。

「めんこいこと。きっと、チロの まごたちだよ」  
「ゆり、いつまでも ここで くらそう。この しまには、  
さくらも いる。チロの まごたちも いる」のう  
うたりは、いくども いくども うなずきあつた。

つっぱしつた。

大おとこたちが、さけびごえを あげて おつてくる。

チロが、たにの むかいがわの さかを  
かけのぼろうとしたとき、大おとこたちは、たにまの

まんなかで、てつぼうを かまえた。

ダーン ダーン ダーン  
ドーオオオオ ドドドドド

じひびきを たてて、ゆきが なだれおちた。

「わあーっ」

大おとこたちの さけびが、あの そこに  
きえていった。

ゆきは、あとから あとから くずれおち、もうもうと  
ゆきけむりが たちのぼつた。

チロは、てつぼうの たまで、おもい きずを  
おつていた。ゆきを 赤く そめながら、よろよろと  
おかを のぼつていく。

おかの上に たどりつくと、チロは ゆきを  
ほりはじめた。ときどき やすんでは、いきを  
はずませながら、また ほりつづける。

ふと、足もとをみると、白い きつねざくらが、  
じぞうを つつむように さいている。  
じぞうと きつねざくらとを、かわるがわる  
みつめていた ふたりは、ぺたんと ひざを つき、  
じぞうに 手を あわせた。

「さくら、チロ：またせて すまなかつた」

あらそいごとが おきているときだつた。与平たちは、  
その あらそいに まきこまれ、20年もの あいだ、  
くにもとを はなれることが できなかつたのだ。  
「やれやれ、ゆめにまで みた しまに、やつと  
かえってきた」

「さくらの はかは、どうなつてゐるかのう。チロは、もう  
おらんじやろうねえ」

ふたりは、なつかしい おかの ほうへ あるいていった。

おかの上に たどりついた 与平と ゆりは、

おもわず たちすくんだ。くびに 赤い きれをつけた、  
小さな 石の じぞうが、たつてゐるではないか。  
おそる おそる じぞうの まえに まわつて、かおを  
のぞいたとたん、ふたりは いきを のんだ。  
「なんと、むかし わしが ほつた、さくらの  
にんぎょうに そつくりじや！」

与平が つぶやいた。

ふと、足もとをみると、白い きつねざくらが、  
じぞうを つつむように さいている。  
じぞうと きつねざくらとを、かわるがわる  
みつめていた ふたりは、ぺたんと ひざを つき、  
じぞうに 手を あわせた。

(完)





# せんこ堤の白百合

語り・小松幸子さん（中通）  
文と絵・石渡力造

# ふるさとの 昔ばなし

## 教師のつぶやき

# せんせい登場



## 子どもたちと共に

高瀬小学校・阿部 道先生

あれは、たしか私がまだ中学生の頃のことです。父が、私の誕生日に「たて」を買ってってくれました。それには、こんな詩が書いてありました。

一一〇

私は、この短い詩に、なぜか深い感動を与えられました。自分にとって、この道しかないと思える道とは何だろう。まだ中学生の私はもちろんわからなかつたし、その後もずっとわかりませんでした。けれども、教師になつてたくさ

むかしむかし、老方の村に畠や  
田んぼをたくさんもつている地主  
さんがおつたど。

地主さんは、もつともつと田ん  
ぼを増やしたいと思い、水をたく  
わえる堤つつみを台山につくることにし  
たでおの。

んの子どもたちと出会い、共に喜んだり、悲しんだりしていくうちに、私の道は教師の道——これしかないと思いました。この高瀬小には、今年の四月に赴任してきたばかりですが、本当に毎日子どもたちのすばらしさに出会うことができます。当番でなくとも喜んで仕事をしたり、人のいやがることも喜んでしたり、病気の友だちを思いやったり、友だちの失敗をさりげなく気づかないふりをしてあげたり。東由利の自然の豊かさが子どもたちの心の豊かさになつているのではないかと思います。も

もちろん、時には小さな問題もありますが、子どもの可能性を信じて共に乗り越えた時のすばらしさは何にも変え難いものがあります。このように、子どもたちのすばらしさにたくさん出会うたび、私はこの道を選んでよかったです。

「教育」という言葉には、「共育」——共に育つという意味もあると聞きました。子どもたちのめざましい成長にはとても追いつけないけれども、子どもと共に伸びるよう、私も日々努力していきたいと思います。

結核はかつて国民病とまでいわれたくらい、多くの人々が病気になり、また、命をなくしました。国内での結核のピークは大正中期で、その後は徐々に減り続けましたが、昭和三十年代になつて再び増えました。

# 保健婦の 快適タイム

さんは、汗水流し精を出して堤づくりに頑張つてくれた大勢の百姓たちをよび、お祝いの酒をふるまつたどよ。

満々とたまつた堤の向こう岸を見ると、白く咲いた山百合の花が



て、いる山百合の花を泳いでとつて  
こい。」と言いつけたんだ。  
このことを聞いたむら人たちは  
「：年端とねはもいかないせんこを：、  
それに堤の水はとても冷たくて娘  
こにはとても無理なことだ。」と

主のない山百合の白い花が、ぽ  
つんと淋しく浮かんでおつたけど。  
あわれなせんこを偲び、むら人  
は「せんこ堤」と呼ぶようになつ  
たんだど。

とつぴんからりん山しよの実。

と、顔を真赤にして怒りだしたでおの。  
涙をこらえながら娘のせんこは向こう岸に咲いている山百合の花を目ざして泳いでいっただ。ようやくのことでは百合の花を摘みとり、冷たい水の中を疲れきっていたが、力をふりしぼつて泳ぎもどろうと広い堤の中ほどまできたら、せんこの手足が急に動かなくなり、可愛かわいそうにも、とうと

みんなでおしとどめたが、言いだしたら耳に入れない地主さんのこ

るよう私も日々努力していくべきだと思います。

この道を選んでよかったですと思ひます。「教育」という言葉には、「共育」——共に育つという意味もあると聞きました。子どもたちのめざましい成長にはとても追いつけないけれども、子どもと共に伸び

もちろん、時には小さな問題もありますが、子どもの可能性を信じて共に乗り越えた時のすばらしさは何にも変え難いものがあります。

結核は、いまだ国内最大の感染症です。「最近、風邪をひいてもいないのにせきがでる」「微熱が続いている」などの症状があるときは、病院に行って診てもらつてはいかがですか。

(保健婦・高橋鈴子)

# 校 友 通 信

## 老齢年金の一重加入

私は、現在特別支給の老齢厚生年金を受け

の老齢厚生年金を受け  
ております。国民年金には加入し  
たことがないのに、六十五歳から  
老齢基礎年金を受けられると聞き  
ましたが、本当でしようか。

**A** 厚生年金保険の被保険者は、昭和六十一年四月からは同時に国民年金の第二号被保険者になります。簡単にいいますと、二重加入ということで



ところが、旧厚生年金保険の老齢年金は、六十歳から受けられることになりましたので、新年金制度に変わったからといって、いつぺん

65歳	
特別支給の 老齢厚生年金	老齢厚生年金
	老齢基礎年金

# “町民海外派遣”研修生決定！

先に公募した平成3年度町民海外派遣「FLIGHT'91」事業に、12人が応募。選考の結果次の7人を研修生として派遣することに決まりました。（敬称略）

- ・遠藤明博（会社員・33歳・五海保）
  - ・遠藤幸男（農業・38歳・館西）
  - ・小松忠孝（農業・33歳・山崎）
  - ・佐藤博和（団体職員・27歳・蓬沢）
  - ・斎藤益子（事務員・34歳・島）
  - ・千葉 覚（団体職員・46歳・島）
  - ・島山学雄（会社員・39歳・喜泥）

なお、同事業と合同で町職員海外派遣事業も実施します。派遣職員は小松長敬（教育委員会社会教育係長）工藤良（産業経済課農務係主査）高橋裕子（議会事務局事務補助員）の3人です。

あなたの場合は、厚生年金保険の加入期間以外に、国民年金の第一号、第三号の加入期間がありますので、六十五歳を境に老齢厚生年金の特別支給が、老齢基礎年金と老齢厚生年金に変わつても、年金額に変動はありません。

次の図のような形で受けることになります。

老齢厚生年金といふのは、六十五歳からの老齢厚生年金と老齢基礎年金を併せたようなものです。

あなたの場合は、厚生年金保険の加入期間以外に、国民年金の第一号、第三号の加入期間がありませんので、六十五歳を境に老齢厚生年金の特別支給が、老齢基礎年金と老齢厚生年金に変わつても、年金額に変動はありません。

次の図のような形で受けることがあります。

「第十五回全県野焼きを楽しむ  
集い」（町公民館主催）が九月十  
二日（木）、八塩いこいの森で開  
かれます。



昨年大森町で開かれた第14回全県野焼き  
を楽しむ集い

行い、古代のロマンに触れながら陶芸愛好者の技術の向上、交流・親睦を深めようと行われるもので、町の陶芸サークル「燐幻会」（小公幸子会長）が開催を引き受け集

当日は午前十時から開会式を行  
い、同十時半から野焼きに点火し  
ます。指導講師は大塚三郎氏（大  
曲市）で、雨天の場合は順延とな  
ります。

なお、見学者も大歓迎です。陶  
芸への関心の有無にかかわらず、  
ぜひお出かけください。

# 【全県野焼きを楽しむ集い】 9/12 八塩いこいの森で開催

9/12

八塩いこいの森で開催

県農協婦人部主催の「若妻の主張コンクール」で、東由利農協婦人部・若妻部・玉米支部（遠藤寿々子支部長）で前同支部長の横山

福子さん（向田）が最優秀賞（但  
知事賞）を受賞しました。

で紹介されましたので、本紙に転載し、広く町民の皆様にご紹介さ

少  
黃  
九  
農  
米  
之  
新  
風

年間行事、地域担当制で

A black and white portrait photograph of a young man with dark, wavy hair. He is looking directly at the camera with a neutral expression. He is wearing a light-colored, possibly white, button-down shirt and a dark, solid-colored tie. The background is a solid, dark color, creating a strong contrast with his light clothing. The lighting is even, highlighting his facial features and the texture of his hair.

はバスの手配から昼食場所の設定などすべて担当地域が責任を持つてやってくれるので、役員の負担がとても軽減されました。敬遠されがちな役員も気軽に引き受けてもらうことができ、計画した事業もスムーズに実行することができるようになりましたのです。

第十一回県農協婦人部若妻の集いが秋田市で開かれ、県内七地区の代表が「若妻の主張コンクール」で熱弁を振るつた。この中で「若妻部活動に思うこと」と題して発表した東由利農協の横山福子さん（三五）は、過去十年間の活動を振り返りながら、年間行事に地域担当制を導入するなど参加意識を高めるために工夫を重ねていることを紹介。「明日の農業に新風を吹き込むために力を蓄え、これから時季を背負う若者を育てていかなければなりません」と訴え、最優秀賞に選ばれた。横山さんの発表要旨を紹介する。

# 県農協婦人部 若妻の主張

## 最優秀賞 東由利・横山さんの発表

私が若妻部  
苦労している状態です。そ  
に入部してから、あつとい  
う間に十年の年月がたつて  
方に行事をしながら行つて  
おり、年間の行事を振り返  
しまいました。私の所属する玉米支部  
は現在部員五十二人です。  
が、毎年のことながら部員  
活動費確保も課題に  
総会で年間の行事予定を  
数を維持していくのにひと  
立たれ、部長を中心とな  
る一つである収入源の確  
立たら、事業を進行してきまし  
た。生活用品の共同購入や  
桜祭りへの参加、親子旅行  
など多彩な活動を行つてい  
ますが、中でも産業文化祭  
では地域でとれた新鮮な野  
菜を即売し人気を集めてい  
ました。しかし、食生活の  
変化などで野菜をまとめて買  
いする人がいなくなり、私  
たちの活動費も少しづつ減  
少してきました。活動を支  
保も大きな課題となっていました。

が苦労したこと、人に渡すことができないと思って悩んでいたところでもあったので、研修会に参加することに決めました。

は早速で報告しようとた。事も入れ参加者五人はわらな協力的までとわった当地域合つての和が意識がす。

は、研修旅  
りで、研修会での話  
し、まず実行  
案計画に担当  
して実施したと  
は多いときだ  
とで以前とま  
いのですが、  
になりました  
違うのは顔ぶ  
といふことだ  
のみんなが力  
計画するため  
強まり行事へ  
高まつてき

話を総会でしてみたりまして、地域名のところ、二十あまり変もみんな變った。これが変化です。担方を出したので、地域の参加などで

米価は二年連続四度目の引き下げとなり、牛肉も輸入自由化されるなど周りは暗い話ばかりです。しかし、古しいからといって泣き言はかりも言っていられません。苦しい時だからこそ若妻部員として、母親として明日の農業に新風を吹き込むべき力を蓄え、これからこの時代を背負う若者を育ていかなければならぬとと思うのです。互いに手を取り合い、二十一世紀に向かって困難を乗り越えていくではありませんか。

いたのだとつくづく感じたのです。

になつたのです。

ん 最優秀賞に輝いた横山ひろみ

## 郷土の野草

79

ツユクサ  
(ツユクサ科)

文・写真 小松忠正

9月 (7/1~7/31)  
町のミニ統計

- 人口 ( ) は前月比
  - ・男 2,817人 (△6)
  - ・女 2,951人 (5)
  - ・計 5,768人 (△1)
- 世帯数 1,414戸 (一)

( ) は1月からの累計  
 ●出生4人(22) ●死亡2人(28)  
 ●転入5人(58) ●転出8人(96)

- 火災出動……0件 (2)
- 救急出動……8件 (67)
- 交通事故……1件 (6)
  - ・死者……0人 (0)
  - ・傷者……1人 (8)
- 飲酒運転……0人 (0)
- 酒気帯び……0人 (1)

## 9町民カレンダー

お年寄りにいたわりを  
老人福祉週間9/15~21

7~9・東日本軟式野球大会秋田県予選大会(9時~勤労者野球場)

9~15・秋の清掃週間

11~20・高齢者交通安全運動

12・全県野焼きを楽しむ集い(10時~八塩いこいの森)

## シートベルトで命を守ろう

## 秋の交通安全運動9/21~30

15・町民運動会(台山グラウンド)

21・定例町議会(9時~予定)

21~30・秋の火災予防運動

九月は国民健康保険税の第二期  
分の納期です。

町社会福祉協議会に、八嶋保さん(上通)から金一封のご芳志が届けられました。ありがとうございました。

善意

ツキクサともい、日本各地の路傍、荒れ地などに自生する一年草です。草丈は五十センチくらい、葉は広披針形でまばらに互生し、基部は茎を抱きます。茎の上部の節から柄を出し、その先に二つに折れた苞葉がつき、中から花穂が出る

て六月~九月頃まで青色の二枚の大好きな花弁が開花しますが一日でしぼみます。よく見ると花弁は三個ですが一個は小さくて目立ちません。花のあと朔果を結びます。全草を乾燥させ、煎じて服用すると解熱、下痢に効くといいます。

- ご結婚おめでとう
  - ごめい福をお祈りいたします
- 8/25 佐々木良博さん 板戸  
中川 泉さん 本荘市

- お誕生おめでとう
- 7/21 高橋 夕希ちゃん 和夫  
永遠子 三女 館舎新田  
7/13 小野ほたるちゃん 常男  
まり子 二女 上里

(7/21~8/20届出)

## 戸籍だより

## 編集室から



## ふるさとの祭り

(8月19日・館合鹿島神社祭典)



今年も、お盆期間中各地で様々なお祭りが行われました。館合地区の「鹿島神社祭典」も8月18~19日に行われ、昔ながらの奉納で無病息災を祈願しました。

▼八月号で「学校だより」の小松雪絵さんの学年(六年)は五年の誤り「数字で見る東由利町十年」の事業所出荷額単位(千円)は万円の誤りでした。おわびして訂正します。▼宮の前青年部で今年も通学路に手造りの「交通安全看板」を設置しました。今年はちょっと趣向を凝らし製作者名を屋号にしたところ、これが「親しみがあつていい」と好評

を得ています。ともあれ同青年部のこうしたボランティア活動は毎年頭の下がる思いです。▼八月十五日午後三時過ぎ館合地区であわや大惨事の火災が発生。幸い消防団などの円滑な消火活動により延焼は最小限に食い止められました。被害を受けられた皆様に心からお見舞いを申し上げると共に消火活動に携わった皆様に心からお礼申し上げます。